

令和6年度 第2回軽井沢町博物館等施設運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和6年 10 月 28 日(月)13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 軽井沢町中央公民館 第3会議室
3. 出席者 委員:大林義博委員、林利佳子委員、大藤敏行委員、
内堀次雄委員、遠藤孝委員、岸宏之委員、柳澤登委員、
関博幸委員
事務局:宮本教育長、市村生涯学習課長、市村文化振興係長、
小林歴史民俗資料館長、竹内追分宿郷土館長、
土屋堀辰雄文学記念館長、新井植物園長

4. 議 題

- (1) 令和7年度博物館等施設事業計画(案)について
- (2) その他

5. 傍聴人数 0名

6. 議事内容

【生涯学習課長】

皆さんお疲れ様でございます。定刻となりましたので、まだ2名お見えではありませんが、ただ今から令和6年度第2回軽井沢町博物館等施設運営協議会を開催いたします。本日、進行を務めさせていただきます生涯学習課長の市村と申します。どうぞよろしく申し上げます。着座にて進めさせていただきます。

本日は、i委員とj委員より欠席の連絡が入っておりますので、委員12名中10名の方に出席いただく予定となっております。2名の方が来られていませんが、過半数を上回っておりますので、軽井沢町博物館類似施設管理運営規則第11条第2項の規定により、この会議は成立したことをご報告させていただきます。

なお、本日の会議録につきましては、町ホームページにて公表させていただきます。あらかじめご了承をお願いします。

それでは、次第の2、教育長挨拶。宮本教育長より挨拶をお願いします。

【宮本教育長】

皆さん、こんにちは。教育長の宮本でございます。本日はお忙しい中、お集まりいただ

きまして本当にありがとうございます。日頃より、町の行政について様々なご尽力をいただきまして本当にありがとうございます。

本日は絞ってこの資料にありますように令和 7 年度の事業計画(案)ですけれども、その審議をしていただくこと。また、今回令和 7 年度に予定しています企画展等の企画書についてもご説明させていただきます。

町は、昨年に町長が変わりまして、副町長、教育長も変わりました。全体の町政の中で、文化振興というところがかなり大きな重点を占められております。本町としても三笠ホテルの改修、そしてこれからの利活用や防災という面でかなり時間と労力をかけて行っているところであります。三笠ホテルだけに限らず様々な文化財とか、あるいは施設を活用していかなくてはいけないという部分があります。要は新しい視点で、そういった事業について見直しをしていかなくてはいけないという側面から見ますと、直接、博物館とか文化財ということではありませんが、例えば、演劇家の協力を得ながら、演劇という文化を学校教育の中で表現コミュニケーションという形で授業を行っていただくということも今、始まっています。文化も町の教育の中で出来ることとか、あるいはまだこれは実行していませんけれども、町にある美術館の学芸員さんと協力して、美術品を学校に持ち込んで解説、一緒に解釈の仕方を学ぶとか、そういうこともやはりやってみたい。というように考えております。

あるいは博物館等、美術館も含めてですけれども、その運営、企画の仕方とか、そういうことについても新たな視点を取り入れて、やっていかなくてはいけない側面もあるのではないかと考えていますので、今日は委員の皆さんにおかれましては、今までのご経験と様々な視点を生かしていただいて、ご意見いただければと思いますので、よろしくお願いします。

【生涯学習課長】

どうもありがとうございました。それでは、議題に入らせていただきます。

軽井沢町博物館・類似施設管理運営規則第 11 条第 1 項の規定によりまして、会長に議長を務めていただくことになっていきますので、会長、よろしくお願いします。

(1) 令和 7 年度博物館等施設 事業計画(案)について

【会長】

それでは、次第に沿いまして進めてまいります。

まず、(1) 令和7年度博物館等施設事業計画(案)について、各館長および係長より説明をしていただきます。なお、事業計画(案)の中にあります企画展等の内容につきましては、全体の事業計画(案)についての説明、またご質問等が終了した後に行うこといたしますのでよろしくお願いします。

それでは、はじめに計画書(案)の1ページをご覧いただきたいと思います。

歴史民俗資料館と近衛文麿別荘(市村記念館)事業計画(案)についてお願いします。

(歴史民俗資料館長 説明)

【会長】

ありがとうございました。

歴史民俗資料館と旧近衛文麿別荘(市村記念館)事業計画(案)について、ご質問等、委員の皆さま、ありますでしょうか、よろしいですか。

(質問等無し)

無いようですので、では次に2ページをお願いします。

追分宿郷土館 事業計画(案)についてお願いします。

(追分宿郷土館長 説明)

【会長】

ありがとうございました。

追分宿郷土館についての説明が終わりましたけれども、ご質問等ございますか。

(質問等無し)

無いようですので、次に3ページをお願いします。

堀辰雄文学記念館 事業計画(案)についてお願いします。

(堀辰雄文学記念館長 説明)

【会長】

ありがとうございました。

堀辰雄文学記念館についてのご質問等ございますか。

(質問等無し)

無いようですので、次に4ページをお願いします。

軽井沢町植物園 事業計画(案)についてお願いします。

(軽井沢町植物園長 説明)

【会長】

ありがとうございました。

軽井沢町植物園についての説明が終わりました。ご質問ございますか。

よろしいでしょうか。

(質問等無し)

それでは、5 ページから室生犀星記念館、ショーハウス記念館、軽井沢型絵染美術館の事業計画(案)についての説明をお願いします。

(文化振興係長 説明)

【会長】

ありがとうございました。

室生犀星記念館、ショーハウス記念館、軽井沢型絵染美術館についてご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

a 委員、どうぞ。

【a 委員】

前回、会議が終わった後、文化施設をまわった時、i 委員から、堀辰雄文学記念館の梅の木の苔を見て、木が枯れてしまうから苔は早く取った方がいいよ。という意見が出ましたが、その後どうなっていますか。

【会長】

木の幹に生えている苔ですか。

【a 委員】

はい、白く見える苔です。

【堀辰雄文学記念館長】

造園業者さんに見てもらっていますが、方法などについて返事がないため手を付けていない状況です。

【a 委員】

木についている苔で梅の木を枯らしてしまった後で植えても、価値がなくなってしまうので。予算の関係とか、あると思いますが、i 委員が詳しくて、薬を使うと、きれいに取れる、というご指示あったので少し心配していました。

【会長】

検討中ということでしょうか。

【堀辰雄文学記念館長】

はい。

【会長】

他にはございませんでしょうか。

それでは続けてですね、ここからは、令和7年度博物館等施設 企画展企画書の内容について、各館長より説明をしていただきます。

はじめに、企画書の1ページをお願いします。歴史民俗資料館 企画書について説明をお願いします。

(歴史民俗資料館長 説明)

【会長】

歴史民俗資料館 企画書の説明が終わりました。

委員の皆さまから何かご質問等ございますか。

はいどうぞ、副会長。

【副会長】

映画上映会、というのがありますが、それは日にちを1日だけ定めて、場所は中央公民館でしょうか。

【歴史民俗資料館長】

そうですね。参加人数にもよるかと思いますが、中央公民館を、少なければ図書館の2階をお借りするのもかもしれませんが、一応、中央公民館を予定しています。当日、上映をおこなった後、講演会も続けて行うような形で、二部構成でやりたいと、今のところですが、考えております。

【副会長】

これでいうと、7月の中旬というところがあるようですが。

【歴史民俗資料館長】

そうですね。7月の中旬ぐらいで。

講師の方は、実は少しあたりをつけさせてもらえたらと思いますので、講師の先生の日程に合わせてということですが、それぐらいの予定で開催したいと思います。

【副会長】

はい、わかりました。

【会長】

e 委員、どうぞ。

【e 委員】

ポール・ジャクレー展ですが、ここもう何年か続いていると思いますが、大体いつ頃まで行うとか、計画のようなものはあるのでしょうか。

【歴史民俗資料館長】

ポール・ジャクレー展でございますが、ご承知の委員の方もいらっしゃるかもしれませんが、いちばん最初、4 年前に追分宿郷土館の方で全作品展というのを開催させていただきました。

その時には、作品のほぼ全てを2 回に分けて、展示を行ったわけです。

その翌年から、今度は、資料館の方に舞台を移しまして、資料館に入っていたいた右手の部屋、陶磁器室、そちらの方で行っております。スペース的な関係もありますが、展示が20 点から本年は22 点のところ、展示しております。全作品、160 点程ありますので、それを8 年かけて紹介できればということで、先週から始まっておりますので、今年で3 年目でございます。何もなければといいますか、通常でいきますとあと5 年間、行っていくのかなと思います。以上でございます。

【会長】

他には、よろしいでしょうか。

はい、a 委員。

【a 委員】

草軽電鉄。たくさんの歴史の中で、取り上げていただきありがとうございます。

まず、一番初めに、草軽電鉄は、会社が出来て9 年目で、もう草津まで電化したという日本でもトップクラスの歴史を持っています。今、高校生の5 人の生徒たちのアイデアで、大正浪漫と今の草軽をデザインしたもの作成しました。皆さんにお見せしますね。

(a 委員から資料を参加者へ回覧)

昨日も軽井沢高校の生徒さんから電話があって、「どうして、あのような所に電車があったのか教えてもらいたい。」という質問で、やはり、興味があり、いろいろ話をしまし

た。

とにかく今でも全国的に物凄い人気があります。記念切符を1枚発行しても四国から電車賃を払って買いに来られます。

そのようなことを、少し頭に入れておいていただきたい。

また、無声映画の「路上の靈魂」を作ったのはここで、浅間高原、草軽が出てきます。

ご存じのとおり、「カルメン故郷に帰る」も草軽が出ています。これは、日本で初めての何でしたでしょうか。

【会長】

総天然色映画ですね。

【a 委員】

日本で映画史においては、初めての事ばかりですが軽井沢はすごい所です。浅間高原、草軽、が題材になっている「路上の靈魂」は旧軽井沢銀座が出てきます。残念ながら無声映画ですのでよく内容が解りません。後には小瀬温泉駅が撮影場所になりました森繁久弥主演の「山鳩」も有名な映画です。

文学では川端康成が駅前横町の事を克明に描いております。野上弥生子は草軽沿線描写を非常に素晴らしく書いています。

講演依頼を受けましたが小学生から何方でも構いません。先日新軽井沢区民の皆さん 35 名ぐらいが集まって聴講して頂き非常に喜んで頂きました。後白糸の滝は手づくり等のうわさが流れていますが、初期大正時代撮影と思われる写真も出てきておりますので現在整理して見て頂きたいと思います。

【会長】

ありがとうございました。

他には、今は歴史民俗資料館企画書についてですが。他はよろしいでしょうか。

それでは、次に、3 ページをお願いします。

追分郷土館の企画書についてお願いします。

(追分宿郷土館長 説明)

【会長】

はい、説明が終わりました。追分宿郷土館についてご質問等ございますか。よろしいですか。はい、どうぞ副会長。

【副会長】

最後の小学3年生の「昔の道具と遊び」。道具と生活の変遷を、わかりやすく展示する、というのは、わかりやすく、というのはどの程度までのことを考えていらっしゃるのか。つまり子どもたちはもう実際には使われていないもの、道具を見るわけですね。言葉だけでわかるのかなとか。

それを知らないから今の生活にどうこう、というのではないけれども、せっかく見てもらうのであれば、どこまでを理解してもらうように、わかりやすい、ということを考えていらっしゃるのかなと思ったんです。

【追分宿郷土館長】

明治期以降に使用された道具の変遷ということなので。例えば、今は洗濯機ですが、タライと洗濯板があってこういうもので洗濯していたとか、冷蔵庫は、昔は氷を入れて冷やして使っていたとか具体的にわかりやすく説明するとともに、遊びになりますと双六から始まり、昭和のファミコンなど、私ちから見るとよく知っているが、子どもたちが知らないものも含めて展示していきたいと思っています。

【副会長】

期待しています。

【会長】

他には、よろしいですか。それでは5ページになります。

堀辰雄文学記念館 企画書についてお願いいたします。

(堀辰雄文学記念館長 説明)

【会長】

説明が終わりました。堀辰雄文学記念館について、質問等ございますか。よろしいですか。では次に参ります。

6ページをお願いします。軽井沢町植物園 企画書についての説明をお願いします。

(軽井沢町植物園長 説明)

【会長】

はい、ありがとうございました。説明が終わりました。植物園について、ご質問等ございますか。

無いようですので、以上で事業計画(案)について、終わらせていただきます。

それでは、(2)のその他に移ります。

委員の皆さま、何かございますでしょうか。

副会長どうぞ。

【副会長】

入館者数のこのようなグラフとか作っていただき、とても嬉しい。コロナの影響でこの折れ線というのは、一目瞭然なのですが。コロナ前、コロナ後の影響が見えるのですが。これによって、何かこの資料から読み取れるものがありましたでしょうか。また、今後、入館者数増に繋げていくヒント、というものはありましたでしょうか。

【会長】

これは多分前回、委員の方から経年変化でね、どのような傾向がありましたか、という意見が出て、それをまとめていただいた資料だと思いますけれども。

【宮本教育長】

これ例えば今、副会長からおっしゃっていただいたように、例えば 30 年と 31 年は、増えてますよね。その 2 年だけ、例えば最初の方の歴史民俗資料館と近衛麿別荘が増えたり、次のページをめくりますと、やはり 30 年 31 年が増えている、そういうところは、しっかり分析をしないといけないと思いますので、ご指摘ありがとうございます。

【会長】

他には、よろしいですか。

【宮本教育長】

その他なければ少しいいですか。私の方から二点だけ。まず一つ目は、博物館等の施設事業計画書(案)を見ていただくと。1 ページの歴史民俗資料館の活動方針の一番上から 4 つ目に軽井沢の歴史と文化イコール(=)「軽井沢学」を学べる場所とする。と書いてありますけれども今、少し軽井沢学という考え方の方針を転換しております。今ここでいうと、軽井沢の歴史とか文化が学ぶことは大事だ。という認識で書いていますが、軽井沢学、というのはもちろんその部分もあります。だから、生徒の皆さん、児童の皆さんに、「ルイザちゃんの大冒険」という町の歴史とか文化について学ぶ冊子を作っていますが、軽井沢学、というものをもう少し概念を広げてですね、軽井沢町にある例えば自然とか歴史、文化、あるいはスポーツとか人材とかですね。

こういう素晴らしい環境とか全てを活用していく学びのことを軽井沢学、というふうに再

定義をしつつあります。したがって、単純に学ぶだけではなくて、軽井沢にすることが子どもたちにとってとても良いことであるというように、例えば授業をする場合でも、今、軽井沢学、という授業を行っていますけれど、いろんな資料館から来ていただいて、援助してもらったり、いろんな人材に協力いただいて、学びを膨らませていくということも軽井沢学。軽井沢における学びということになるので、軽井沢を学ぶ、軽井沢について学ぶというのは、今までの軽井沢学の定義でしたけれど、それを軽井沢にいるからこそ出来る学び、つまり軽井沢で学ぶ、軽井沢に学ぶというものを含めて、もうちょっと広い概念として軽井沢学を再定義していますので。少しここを書き換えると、軽井沢の歴史と文化を学び、軽井沢学を進化させる場所である。そのような書き方になるのかな、というふうに思っています。

それと、もう一つ。直接は関係ないのですが、ちょうど k 委員さん、いらっしゃらないですが、堀辰雄の命日に、何かイベントみたいな形で、やりたい。とおっしゃっているのを私と町長の方にお話になって、区のところで、そういう形で盛り上げていただけるのであれば、いいじゃないですか。とお話をさせていただいて、遺族の方にコンタクトが取れないので、堀辰雄文学記念館にお願いしている部分がありますので、今どのような状態ですか。

【堀辰雄文学記念館長】

k 委員とお話させていただいて、まずは記念館から親族へコンタクトを取ってもらえないかとの事なので、10月14日月曜日に概要を含めた内容でメールを送っています。詳細はご自宅に伺い直接お話をいただければと付してありますが、返事は来ないので、再度メールなどでコンタクトを取ってみようかと思っています。今はそのような状況です。

【宮本教育長】

ありがとうございました。

【h 委員】

私も地域の立場として泉洞寺さんから相談を受けまして地域としてどう考えるか、ということでした。

追分のあり方、作り方ということの中で、「文学と歴史の里」というようなテーマで、地域づくりをしているものですから、堀辰雄に関してそういうようなことが出来るとすれば大

いに結構だと思います。ただ一番は、ご遺族の方が、どのようにお考えになるか。

【会長】

続けて事務局の方で何か。はい、お願いします。

【文化振興係長】

すみません。出欠お願いしていると思いますが。今年度、博物館等施設運営協議会と文化財保護審議会の視察を行わせていただきたい、ということで、11月12日火曜日になりますが、少し朝早く申し訳ありません。時間の都合もありまして、集合時間7時15分、こちらに集合で。木曽町と塩尻市ですね。福島関所資料館と、奈良井宿の上間屋史料館の視察見学を予定しておりますので、皆さんご都合をつけていただいて、出席いただければと思います。

時間としましては7時15分に集合、7時半に中央公民館を出発しまして、福島関所資料館を見た後、奈良井宿の上間屋史料館、最後、こちらに5時15分。バスになりますので、少し時間に変更あるかもしれませんが、一応、行程としましては、5時15分に中央公民館に帰って来て、解散。ということで予定しておりますので、また皆さんご都合つけていただければと思いますので、よろしくお願いします。

【会長】

他、よろしいでしょうか。それでは、私の方で予定しています議題につきましては終了いたしましたので、事務局の方にお返しします。

【生涯学習課長】

会長、どうもありがとうございました。委員の皆さま、本日は、お忙しい中、ご審議ありがとうございました。いただきました貴重なご意見、貴重な体験談のお話を聞かせていただきまして大変実のある会議であったと思います。

それでは、以上をもちまして軽井沢町博物館等施設運営協議会を閉会といたします。ありがとうございました。